

平成二十三年十二月十六日受領
答弁第一一四号

内閣衆質一七九第一一四号

平成二十三年十二月十六日

内閣総理大臣 野田 佳彦

衆議院議長 横路 孝弘 殿

衆議院議員河野太郎君提出スーパーコンピューター「京」の新方式の設計の可能性に関する質問に対し、
別紙答弁書を送付する。

衆議院議員河野太郎君提出スーパーコンピュータ「京」の新方式の設計の可能性に関する質問に対する答弁書

「次世代スーパーコンピュータ・プロジェクト」においては、平成二十四年度までに汎用性を重視した世界最先端・最高性能の次世代スーパーコンピュータを開発・整備することとし、そのシステム構成については、当該プロジェクトの実施主体である独立行政法人理化学研究所が、公募により参加した企業等と共同して検討することとしたところ、同研究所及び当該企業等が、スカラ型及びベクトル型以外のシステム構成についても、研究及び概念設計を実施し、その結果を評価した上で、スカラ型及びベクトル型の複合型のシステム構成としたものである。

当該システム構成については、政府として、科学技術・学術審議会において、当該研究及び概念設計についての報告を受けた上で検討し、適切と評価しており、総合科学技術会議においても、この評価結果がおおむね妥当であると評価している。